



コロナ禍で集える喜び すてきな笑顔！

さかわ *Sakawa* 議会だより

85
2021.2.1

発行 高知県佐川町議会

12月定例会

contents 目次



オンライン配信！どんどこ！巨大紙相撲

12月補正予算	3
一般質問 9人が問う	6
町長出馬表明	11
図書館建設場所	14

令和2年第3回(11月)佐川町議会臨時会議案内容

第3回臨時議会は、11月24日に開催され、議案(5件)、報告(1件)を審議し、採決の結果、賛成全員で全件を可決しました。

今回の臨時議会において、佐川町一般職の職員・任期付職員・特別職の職員・教育長・議会議員の期末手当等について、国に準拠し引き下げ(0.05%)を行いました。

各議員の意思表明

賛否表(令和2年第3回臨時会: 11月24日)

○: 賛成 ●: 反対 -: 議長 欠: 欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
佐川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○
佐川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○
佐川町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○
専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○

議案質疑

専決処分の報告

西森議員 この専決処分の報告書は、町道中本町松崎線において、町道のグレーチングがはね上がり、通行車両が損傷したとして、約30万円の損害賠償を支払うものである。この前もこれと同じような事故が墓地公園で起こったばかりであるが、町長は町道管理をしっかりとっているのか。

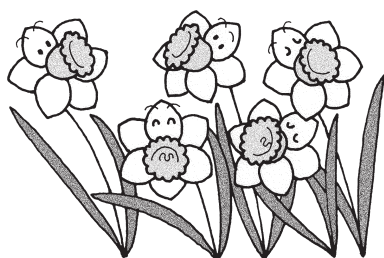
町長 今回の事故は住民が町道に設置したグレーチングがはね上がって起きた事故であるが、今後は設置を認める際、安全面について十分チェックする。

また、町道管理についても問題がないよう管理していく。

議案第73号 職員給与の改正

西森議員 この改正は、人事院勧告による職員給与の改正であるが、これは国・県に準じて改正されているのか。佐川町は独自の人事委員会を持たないので県に委託していると思うが、県に準拠しているのか。

総務課長 県は、人事委員会を持っていてるので独自に決定していると思う。佐川町の今回の改正では、国の改正内容に準拠しており県下の市町村も同じだと思っている。



一般会計 12月補正予算 6,735万円の増額補正を可決

12月定例会で決まりました

令和2年12月補正予算

(単位：円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	6,735万	100億6,401万
特別会計 国民健康保険事業	170万	19億9,835万
介護保険事業	652万	18億8,507万

12月定例会は、12月4日から9日までの会期で開かれました。令和2年度の一般会計等の補正予算をはじめ条例改正、物品購入契約の締結など、議案13件を審議し、採決の結果、賛成全員及び賛成多数で全件可決しました。一般質問には9人の議員が登壇し、町政全般について活発な論戦を展開しました。

12月補正予算ピックアップ

一般会計

商工振興費
4890万円

牧野公園トイレ・東屋新築工事及び、長谷溪谷整備工事にかかる委託料・工事費の増額補正。

河川総務費
2000万円

加茂地区管理型産業廃棄物最終処分場の建設に伴い実施する地域振興策にかかる長竹川ほか3河川の護岸整備工事費の増額補正。

特別会計

国民健康保険事業
170万円

葬祭費及び、国民健康保険システム改修への、国庫補助金の交付決定による増額補正。

介護保険事業
652万円

地域支援事業において、訪問型・通所型生活支援サービスの利用者の増加及び、介護保険制度改正によるシステム改修に伴う増額補正。



条例改正

個人番号の利用及び、特定個人情報情報の提供に関する条例の一部改正

条例が引用する佐川町妊婦及び、乳児一般健康診査実施要綱の要綱名及び、雇用対策法の法令名が改正されたことに伴い、条例を改正する。

佐川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正

居宅介護支援事業所の管理者要件の改正及び、適用の猶予に関する厚生労働省令が公布されたことに伴い、条例を改正する。

佐川町給水条例の一部改正

現行の水道料金から

20%の引き上げを行うこと及び、使用水量の検針業務を毎月から隔月へ移行することに伴い料金の算定方法を変更すること、並びにその他必要な改定を行うことに伴い、条例を改正する。

物品購入契約締結

避難所用パーティションの購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

842万1千600円

(契約の相手)

株式会社

中村防災サービス

代表取締役 中村彰宏

佐川町内小中学校電子黒板等の購入

(契約の方法)

指名競争入札

(契約金額)

4千240万5千円

(契約の相手)

株式会社

高知通信機

代表取締役 森本道義

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

議案第76号
令和2年度
佐川町一般会計補正予算

下川議員 地域介護に係る整備交付金がなぜ減額となったのか。

また、私立保育所運営費が650万円増額となっているのはなぜか。

地域振興策で300万円の委託料と工事請負費2千万円の内容は何か。

健康福祉課長 地域密着型施設のわかきの桜が事業主体で整備していた防災対策設備が完了し、その実績が確定したため。

また、私立保育所運営費の増額は国の基準が引き上げとなった事による。建設課長 地域振興策で幹線道路に位置づけた長竹1号線、2号線の事業着手に向けてルート選定を行ったための委託料である。工事費は長竹川、横山川、竹ノ倉川、玉割川の護岸整備費である。



西森議員 ごみ収集委託料が1千321万円も減額となっている。本来、このごみ収集業務は町の職員がすべき業務で、これを委託に出す場合は法令により業務を遂行するに必要な金額を支払わなければならないと定められている。さらに、コロナ対策で大変な時になぜこれ程の減額となったのか。

また、コロナ対策費は別途に支出したのか。人件費も国・県の基準を参考にして1人1万4千900円を見込んでいるが、実際支出しているのか。最低制限価格にしても75%と言ったが見直しが必要ではないか。

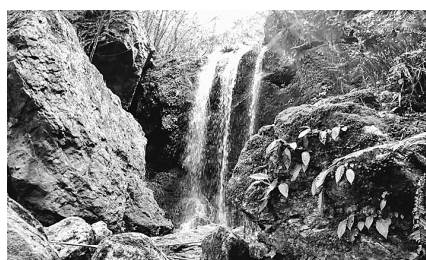


ゴミ収集

町民課長 ごみ収集業務は入札で人件費が約1千300万円の減額となった。これは賃金を1人8千円ほどしか払っていないためである。

また、コロナ対策についてはマスク代や消毒液などの予算化も考えたが、役場や高北病院のストック分を回すこととしたので対応していない。今後、不足があれば必要な配布をしたい。

町長 受託業者は業務を遂行できる金額で見積書を出してもらえば良い。最低制限価格については変更できるか出来ないかも含めて協議して決める。



長谷渓谷

橋元議員 国内外交流費95万円が不用額となっているのは。

教育次長 北海道北見市との交流が中止になって減額となった。

永田議員 商工振興費の牧野公園と長谷渓谷のトイレ、教育総務費の山崎天文台のトイレの事業は、住民からの要望が、担当課の立案計画によるものか。

チーム佐川推進課長 牧野公園のトイレは、以前よりボランティアグループから要望がでていた。長谷渓谷の整備は、こ



牧野公園トイレ

れまでシャワークライミングなど観光施設としても使っていたが、地元の方にも相談して、今回コロナ関係の補助金で補正を組んだ。

教育次長 山崎天文台のトイレ改修は、指定管理者のとかの元気村の意見を聞き、虫の入り込みを防ぐため網戸を設置する。

議案第84号
佐川町給水条例の一部を改正する条例の制定

坂本議員 水道料20%と大きく値上げする要因は何か。収入の少ない人には負担となる。町からの繰り入れで値上げを止めることはできないか。

建設課長 現行の料金では令和3年度に給水原価が供給単価を上回り、耐震事業の国庫補助金の選択要件である料金回収率100%以上を達成できなくなり、生活基盤施設耐震化等交付金を受けられなくなる。令和5年度には、純損失が発生し、令和18年度には資金不足に陥り経営が破綻する。

令和3年度に料金改定を行わないと、令和7年から10年度で予定している施設整備計画の交付金約7千280万円を受けられなくなる。十分な資金確保をするため、上下水道運営委員会で審議検討を重ねて、本定例会に提案した。

一般会計からの繰り入れは、地方公営企業繰出基準に基づき令和元年度決算で5千243万円を受け入れている。



橋元議員 漏水で供給パランスを崩している。諮問委員会等で漏水施策などについて指摘されていないのか。

また漏水が一定改善されると、値上げについて検討の余地はあるのか。

建設課長 令和元年度について有収率68%と非常に低い数値となっている。運営委員会でも厳しい指摘を受けている。漏水調査を実施して、徐々に改善の傾向がみられている。

漏水が減れば給水の動力費が下がるが、有収率が仮に10%上がったとしても料金を改定せずに事業運営する状態にならない。

各議員の意思表明

賛否表（令和2年12月定例会） ○：賛成 ●：反対 -：議長 欠：欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村統正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
令和2年度佐川町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町介護保険条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町給水条例の一部を改正する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
佐川町庄田大奈路地区飲料水供給施設新設事業分担金徴収条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
物品購入契約（佐川町避難所用パーテーション調達業務）の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
物品購入契約（佐川町内小中学校電子黒板等整備業務）の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

コンビニでの証明書配布 進めるべきだ

町民課長 検討を進めたい



松浦 隆起
議員

9人が町政を問う

ここが
聞きたい

県内では、大豊町、土佐町、仁淀川町の3町が、マイナンバーカードを活用して、コンビニエンスストアで住民票、印鑑登録証明書を交付するサービスを始めている。本町においても、コンビニでの証明書の交付を進めるべきだ。

和町町民課長 システム改修費や年間の運用費用などのコスト面だけで見れば、導入は困難と思われる。

しかし、県内34団体のうち8団体が導入準備中ということもあり、コンビニ交付が可能となれば、利便性の向上とマイナンバー交付率も伸びていくと思われる。

先行導入団体の運用状況を調査し、導入に向けて前向きに検討を進めたい。

防災士資格講座・試験費用

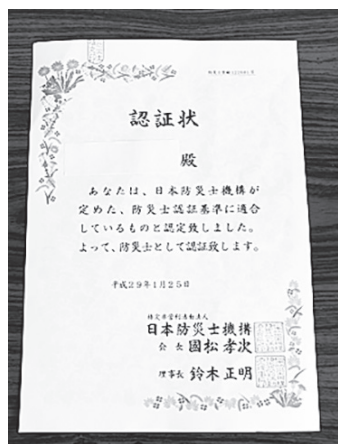
助成すべきだ

町長 助成していきたい

3月定例会において、防災士養成講座と資格取得への助成を行うべきとの質問を行った。

今年度、私自身が、養成講座を受講した。職員の方々は、町が費用を出し、資格を取得する。

同様に、防災リーダーとして行政と共に協働して地域防災に取り組んで頂ける地域の人材育成を助成をしていきたい。



もしものためのリーダー育成



重すぎて、疲れる

「置き勉」の取り組み

通達出すべきだ

教育長 きちんと指導したい

持ち帰る必要のない教科書などを学校においていく「置き勉」の取り組みについて、教育委員会として、方向性を出して各学校、各担任まで徹底されるよう通達を出すべきではないか。

濱田教育長 校長会において、子供たちの負担をきちんと考えるように指導したい。子供たちの通学の負担が軽減され、効率的に学ぶことができるような取り組みを模索していく。



西森 勝仁 議員

この7年間で人口は、1千232人減少し、高齢化率は39.3%に上昇した。執行した予算は6年間で約400億円。
町民に対し、何か胸を張れる実績があるのか。
また、東京の博報堂に発明ラボなどを委託し、木のロボット作品等を東

町民に胸を張れる7年間の実績は何か

町長 総合計画・ぐるぐるバス等

京やニューヨークにまで出品しているがそれだけの価値があるのか。しかもタダでは出品ができないと思うが、一体博報堂に全部でいくら払ったのか。

堀見町長 実績は第一に、住民参加で作った総合計画。次にぐるぐるバス。そして自伐林業である。

また、ニューヨークへは、博報堂が出品したので特に町費を出したわけではない。

田村チーム佐川推進課長 博報堂への支払いは31年度までに5千70万円。これは、総合計画の策定や発明ラボの管理運営等である。



6年間の決算書

役場改修工事の分離発注

なぜできぬ

総務課長 専門工事の調整が必要のため

今、役場や文化センターでは大規模改修工事をやっているが全て町外業者に一括発注で、町内業者には仕事がまわってこない仕組みになっている。

税金を納めてくれる町内業者の育成は大事であり、また、災害時に頼れるのは地元業者だけである。水道や電気工事などなぜ分離発注しないのか。

麻田総務課長 今回の工事は、役場の機能を停止せず進めるために専門工事の調整が必要となったため。

道の駅プロポーザル 疑惑はないのか

町長 公平公正で事件性はない

11月26日に「まきのさんの道の駅さかわ」の基本設計の選考結果が公表された。最優秀には若竹

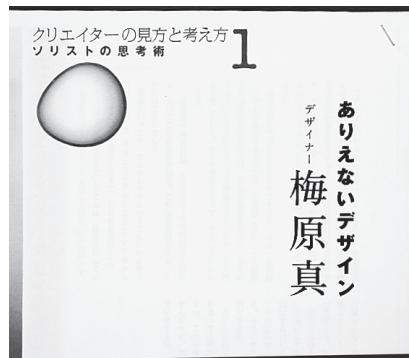
まちづくり研究所を総括責任者とする設計JVが選ばれている。

この選考委員長は梅原真氏であり、委員長と若竹研究所とは平成9年頃から赤岡の絵金蔵プロジェクトで協働している。

また、道の駅さかわのワークショップを行ったわらびの代表者畠中智子氏と委員長とは、四十市のプロジェクトでも関わっている。さらに若竹研究所とわらびの絵金蔵の仕事と一緒にしている。こうしたつながりは、自身の著書「ありえないデザイン 梅原真」や「高知のモノ・コト・

堀見町長 梅原委員長とわらびの畠中代表はよく一緒に仕事をすると思うが若竹研究所とはそれ程でもない。審査も公平公正で事件性はない。

こうして3者が密接に関わったと指摘される疑惑のプロポーザルは不公平そのもので無効ではないのか。
また、これだけの物証が残る今後、告発など事件化する恐れはないか。



梅原委員長の著書



坂本 玲子 議員

学校トイレの洋式化 早急に改善を

教育次長 3年以内をめどに

佐川・斗賀野・黒岩小学校において、トイレの洋式化が進んでなく早急に改善が必要だ。今後の改善計画を聞く。
また、温便座にする必要があると思うがどうか。教室や体育館の照明のLED化も早急に進めるべきだ。

子供の頃の体験は一生の宝物となる。町内にはプールや地質館、青山文庫などの施設がある。それらの施設の使用料を免除してはどうか。

吉野教育次長 佐川小学校については来年度、斗賀野・黒岩小学校については3年以内に3分の2以上のトイレの洋式化をめざす。一定数は温便座を設置する。
照明のLED化は体育館についてはできるだけ早期に、職員室・教室については4年以内をめどに進めていきたい。
施設の無料開放については前向きに検討中。



和式が多い小学校トイレ

地域担当職員制度

集活支援員の活用を

町長 前向きに検討

集落支援員の方々は、地域と密着して活動をしている。支援員の方々が、住民のサポートが出来る地域担当制も兼ね備えることが出来れば町政と地域をつなぐ大きなパイプになる。

町の施策について学習をして頂いた上で、支援員を活用して地域担当制を推進してはどうか。

また、佐川地区には支援員がいない。佐川地区にも支援員の配置が必要だと思いがどうか。

堀見町長 まずはいろんな手段で支援員や住民の皆さんと、町が今どのようになら実現しているかの情報共有を図り、前向きに検討を進めたい。

夢まち協議会が佐川地区の地域作りを担う活動をしてほしいということなら、支援員を配置することも当然考えられる。

農業者向け持続化給付金

対象は

産業振興課長 ひと月の基準が申請要件

農業者にとって「コロナ」の影響が少しでも、廃業に追い込まれる可能性がある。行政が情報を適正に出し、手厚くサポートする事で農業が守れる。



集落支援員のいる集落活動センター

農業者の持続化給付金について、全ての農家の人への周知は出来ているか。

農業者向けの持続化給付金制度の対象はどんなっているか。

森田産業振興課長 様々な方法で周知をしているが、すべての農業者までには周知出来ていない。

「コロナ」によって大きい影響を受けていれば、前年の収入の12分の1をひと月の収入と見なし、50%以上減収の月がひと月でもあれば対象となる。



橋元 陽一 議員

全国54の類似団体で人口1万人に換算する職員数は下から19位。職員の勤務条件の改善は、町民の暮らし・生業の支援に直結する問題だ。また採用からの職員の仕事の実績は町民の財産だ。定数改善を重要な課題と受け止め検討してほしい。

職員定数

改善の検討を

町長 今は増やさなくていい

今後の高北病院の

役割は

病院事務局長 民間ではできない役割を

堀見町長 就任した当初は町長部局の定数はいっぱいではなかった。特に健康福祉課の仕事が増える中、実情を聞きながら正職員の採用を増やして定数の104人になった。今後も庁議でしっかりと議論するが、ここ数年は増やさなくてもいいと思う。



増え続ける役場の業務

国は公立病院の統廃合を進めている。2025年以降、人口減少の中、高北病院が公立病院として担っていくとする役割について説明を求めた。公立病院のあり方を検討する会議に住民代表が参加できるシステムを考えてほしい。

渡辺病院事務局長 民間にできない地域包括医療ケア、公衆衛生活動、救急告示、災害救護、新型

コロナウイルス感染症検査協力の5つの役割を担う病院として継続していく。特に人口減、高齢化医療需要減、地域のニーズを把握しながら、医療介護の機能ごとの病床数などをタイムリーに見直していく。

堀見町長 県の担当課に対し、公立病院のあり方を検討する会議に住民代表を委員に加えることを検討するように話す。

長竹川改修の

説明を

町長 県から説明がある



氾濫をくりかえす長竹川

長竹川の目標流量を100㎡に設定にした改修は、床上浸水を防ぐことを目標にしたものである。抜本的な改修ではないことを住民に説明し、了

解を求める責任がある。町の見解を求める。堀見町長 長竹川の流量は県が再検討している。県が開催する地元説明会できちつと説明があると理解している。地元の皆さんへの説明がされていないという状況があるときは、しっかりと県に対して要請する。

その他の質問 町内でのコロナ感染対策について 集落活動センターを個人演説会場に利用することについて



森 正彦 議員

百歳体操 傷害保険の助成を

健康福祉課長 本年度中に結論

地域で実施している百歳体操は、本人の体力維持のみならず、高齢者福祉の大事な部分も担っている。

しかし、傷害保険がかけられていない。世話人や参加する皆さんが安心できるよう町が傷害保険に補助金を出すべきだ。



元気で長生き百歳体操

岡崎健康福祉課長 百歳体操は地域福祉活動の素晴らしい実践事例であり、地域型のこの事業が持続発展していけるよう、世話役や参加者の声を聞き、支援のあり方について本年度中に結論を出したい。

農地の基盤整備

急ぐべきだ

産業振興課長 取り組み進めたい

水田農業は今後、大型機械で効率を上げなければ維持出来ない。町内の平坦地でも多くの未整備地が残っている。この基

コロナ・次期作支援交付金 申請状況は

産業振興課長 取り組み進めたい

盤整備を急ぐべきだ。計画はどつなっているか。

森田産業振興課長 町では基盤整備事業の実施に向けて、中心的な担い手のいる地域と何度も協議をしている。

その中で、「市ノ瀬・市坂・馬の原・立野の各一部」の地域で、事業推進のため地元農業者が推進委員となる基盤整備事業推進協議会が発足した。

今後は、土地所有者の同意のとりまとめなど、事業実施に向けた取り組みを目に見えた形で計画的に進めていきたい。

新型コロナウイルスで影響を受けた園芸農家の中で、野菜、花卉、果樹、茶などの高収益作物の次期作を支援する高収益次期作支援交付金の申請状況を把握しているか。

また、応募した後に要件変更があったが、混乱はなかったか。



耕作維持には、基盤整備

森田産業振興課長 仁淀川地域農業再生協議会が窓口となっている。町内ではニラ、イチゴ、ショウガ、トマト、茶、花卉果樹の農家から申請があつていことを確認した。申請合計額は1千795万円となっている。

申請後の要件変更については、救済措置、支援措置が設けられ混乱しているという事はないと聞いている。



下川 芳樹 議員

内閣府は、自力避難が困難な災害弱者の逃げ遅れを受け、来年の通常国会で災害対策基本法を改正する考えだ。
町の個別計画の現状と、今後の取り組みはどうか。

災害対策基本法改正

個別計画の今後は

健康福祉課長 今後作成充実進める

また、ガソリンスタンド減少によるエネルギー確保はどうか。

岡崎健康福祉課長 本年の避難行動要支援者は861人、名簿への登載者は605人、個別計画作成者は209人となっている。

今後、政府の改正内容を踏まえて、関係者と話し合い、作成の充実を進めたい。

麻田総務課長 町内のガソリンスタンドは減少している。

しかし、災害時に不足する燃料確保を目指し、本年度は高吾北消防本部で自家用給油施設が整備されることになっている。

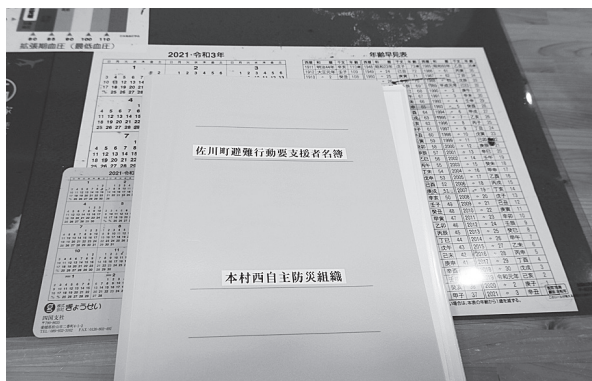
来期町長選

出馬するか

町長 出馬したい

町長の任期も来年10月で満了する。加茂地区の産廃問題や大型事業、残された課題も少なくない。来期出馬をどのように考えているのか。

町民に対して責任ある答えを聞きたい。



弱者を守る個別計画

堀見町長 加茂地区における環境保全の協定、地域振興策の実施、処分場のチェック機能など、責任をもって仕事をさせてもらいたい。

道の駅、新文化拠点図書館など課題が残っている。住民の支持を得られるなら仕事を引き続きしたい。そのために来年の町長選に出馬したい。



堀見町長の出馬意向表明

外国人労働者への

日本語教育を

教育次長 要望あれば対応検討

近年、外国人労働者が増えている。町内の外国人労働者が言葉の壁で災害弱者とならないため、日本語教育の場を設けるべきだ。

吉野教育次長 今後、事業者からの要望や住民からの支援の申し入れがあれば、対応を検討したい。
また、日本語教育の場として公共施設を利用することは対応可能である。



宮崎 知恵子 議員

みんなでつくる道の駅 どうやる

産業振興課長 幅広く意見を聞く

みんなでつくる道の駅にするために、一人一人どう巻き込んでいくか。情報共有や町民の道の駅に対する理解を自分たちがまず地域資源の価値を理解し、観光コミュニティの二員になることが大事だと思う。



道の駅イメージパース

つくる意義や、今後の佐川のあり方について知る機会や場を設けることがあればお伺いする。

森田産業振興課長 道の駅は、植物の町として広く魅力を発信する施設とする。牧野公園と連携し、まちまるごと植物園の一部となるよう考えている。

先日基本設計の公開プロポーザルを行い、建物だけでなく町の魅力を表現するための関連設備も提案いただいた。ワークショップ等を通じて、幅広い意見を聞き、みんなで作くり、使う道の駅になるよう進めていきたい。

副町長に佐川の 魅力を聞く

副町長 人が素晴らしい

佐川町の魅力をどう感じているか副町長に聞く。

中澤副町長 第一に人が素晴らしい。ボランティアグループ、牧野公園の整備をされる皆さん、集活センター、地域、住民

組織の皆様方、本当にたくさんのお世話役さんがおいで。また新しい地方自治の形にユニークかつ正面から取り組み、挑戦されチャレンジしている。そういう魅力がある。さまざまな町内の資源、人、歴史、自然を生かし、価値を高めていく道の駅、新図書館、文化拠点の計画等進んでおり、町民一人一人がまちづくりに参加し、笑顔でいきいきと携わるそんな町になると期待する。

牧野公園活用

今後の計画は

チーム佐川推進課長 様々な整備をしていく

牧野公園の施設整備、植物の公式アプリの企画、活用方法や今後の計画について聞く。

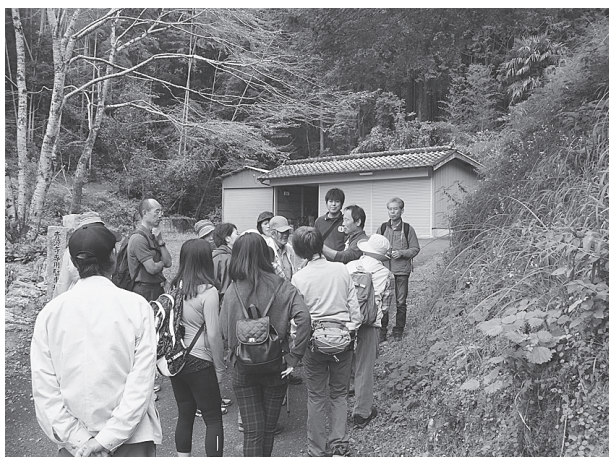
また、稲垣典年さんは牧野植物園のアドバイザーである。80歳の現役で豊富な見識と熱い思いを伺い、まちづくりの推進につなげてはどうか。

田村チーム佐川推進課長 公園頂上付近まで、水道管を布設し、トイレ・休憩所・散水用設備の整備を考えている。

情報コミュニケーションアプリを制作企画、設計委託、工事費用の補正予算を計上している。

2022年に牧野博士生誕160年記念事業を予定している。

道の駅基本計画のコンセプトである植物が中心である町の取り組みに欠かせない存在である稲垣さんとは協力いただけるよう検討していきたい。



牧野公園、さらに進化を



中村 卓司 議員

9月議会でも質問したが、地域住民の声や中学校PTA等から申請書が出されていた、通学路の防犯灯設置は、どの様に進んでいるのか。来年度の予算に組み込んでもらえるのかを聞く。

通学路防犯灯

設置できるか

総務課長 来年度予算に計上

麻田総務課長 9月定例会の終了後、佐川中学校の話を聞いた。その道は部活動の帰りの生徒も利用していることだった。
本年度、提出されている要望に、春日川沿いの防犯灯設置の要望が中学校から追加された。
総務課としては来年度の予算に計上し、通学路防犯灯設置事業として町が設置管理する方向で進めている。

投票率向上

工夫が必要

選管事務局長 対策のため会議開催

町内の投票率が下がっている、特に若い方の投票率が下がっている。そこで佐川高校生など若い方の投票率向上の工夫が必要だと考える。
町民、行政、議会に働きかけ投票率向上を検討する会の開催を選管に働きかけてほしいと9月議会で質問した。その後選管での話し合いはなされたのか。

麻田選管事務局長 11月4日選挙管理委員会を開き、その結果1月末以降に話し合いの場を設ける事となった。
出席者の費用弁償も必要なので補正予算に計上し準備をしている。



春日川沿、夜間は真っ暗

J A介護撤退

対応は

健康福祉課長 スムーズに進んでいる

岡崎健康福祉課長 JAが介護事業から撤退する事で心配される居宅介護事業の利用者20名すべての方の対応が決まっている。
また、訪問介護事業の32名の利用者も他の事業所へ移籍する準備を進めているとの報告を受けている。保険者としてスムーズに利用者の引き継ぎが行われるようJAに状況を確認していく。

JAが介護事業から撤退する。その事で50名以上の介護難民が発生するかもしれないと心配している。保険者である町はどう考えるか。



介護事業から撤退予定のJA



永田 耕朗 議員

五位山公園 トイレ・駐車場 整備を

町長 本年度中に結論

五位山公園は子供たちに大変人気のある公園だが開設以来かなり年月が経過し、今の時代に対応できていない部分がある。

駐車場が変形で大型バスの回転がしづらい。トイレも公園の中腹に1カ

図書館の建設場所

早い決断を

町長 今年度中に結論

堀見町長 25年近くたっており、さまざまな人が利用されている。駐車場、トイレ、案内看板について今年度中に、どうするか結論を出したい。

所だけ。使い勝手が非常に悪い。また県道から進入路の看板、標識がないためお客様がとまどっている。

駐車場の拡張、駐車場の近くに大型トイレ、進入路の看板、標識が必要だ。

図書館建築に向けては検討委員会、ワークショップ、議会での議論等、多くの人々の労力と時間が費やされて来たが、いまだに場所の決定ができない。他人の土地に絵を書いた事から土地の選定の迷走が始まったと思う。

町所有の中で、建設地が決断できないのか不思議に思う。上町での合築は無理があると思う。影地で道も狭い。富士見町

の今の図書館の位置で問題ないと思う。町長は決断をすべきではないか。

堀見町長 図書館と青山文庫の合築を締めて、富士見町に図書館を整備するという選択肢も当然もっている。

焼酎蔵の耐震診断の結果が出たら、今年度中には合築でいくのか、合築はしないのか結論をだしたい。



五位山公園駐車場



トイレ

多数の公用車

放置の理由は

町長 役場で調査する

多数の公用車が使われた痕跡もないまま、松崎の民有地に放置されている。ダンプも含めて20

公用車の使用頻度については、確信が持てない部分がある。本来に必要な台数であるか、役場のほうで調査、精査をし、結果を議会に提示する。

堀見町長 一部の公用車は、庁舎工事のため松崎の臨時駐車場に停めている。

台以上の車が、草原につき据えられている。町民の間にも疑問の声が上がっている。何のために公用車を放置しているのか。



臨時駐車場の公用車

あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.55



**健康パスポート事業の
今後の展開は。町民へ
の周知徹底と推進を！**
(平成28年9月定例会)

健康づくりを進めるため、健康パスポート事業の対象事業を増やしてはどうか。佐川町独自の特典を増やすなどの取組みをしてはどうか。
(坂本議員)

健康福祉課長
答 弁

検討し取り組む

町内の各種団体への説明や広報等で広く周知を図る。今後は、特典等についても検討し、県の動向にも注視し事業を進めていく。

令和2年12月の状況

健康パスポート普及のためセット健診時にブースを設けパスポートの発行や、あったかふれあいセンターを活用し、普及に努めている。

健康パスポートの取得者数は、1,940人となっており、20歳以上の取得率は約20%。

町独自でハピースマイル券の発行にも取り組んでいる。

今後も、普及推進に向け取り組んでいく。

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は、令和3年3月5日(金)
午前9時開会予定です。
傍聴においでください。

編集後記

感謝する心がみんなを一つにする、コロナ禍が教えてくれたことです。

コロナで行動は抑えられましたが、人・物・自然の素晴らしさの発見ができました。与えられているものに気付き、感謝することが大事だとわかりました。自由が束縛され、自由とは何かに気付きます。

私の大切な言葉に、「成功とは感謝である」という一節があります。人は幸福になる権利があります。幸福と感じられないなら何が間違ったのかと考えてみてはどうでしょう。

コロナ禍の中でも逆転の発想をすれば道は必ず開けます。世界一幸せな町づくりをめざし、人を理解し認め、この未曾有の時をみんなで乗り越えましょう。

宮崎知恵子

議会広報編集委員会

委員長 下川 芳樹
副委員長 西森 勝仁
委員 坂本 玲子
委員 宮崎知恵子
委員 橋元 陽一

※わかりやすい紙面に心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

地域で がんばる

今回は、二度目の青春を楽しんでいる、セカンドライフ夢追い塾のおたすけ隊、隊長の堀見昇出さんにお話を伺いました。



隊長の堀見昇出さん

セカンドライフ夢追い塾

おたすけ隊



災害ボランティアの訓練

「おたすけ隊」はいつから活動していますか。

平成25年のセカンドライフ夢追い塾発足時、参加者にアンケート調査を行いました。
「もっと佐川町を知りたい」「この町をもっと盛り上げたい」「誰かの役に立ちたい」などの声があり、ボランティアグループ「おたすけ隊」を結成しました。



24時間TVでも活躍

「どのような活動をしていますか。」

24時間TVチャリティービアガーデン、災害ボランティアセンター模擬訓練、佐川町ふれあいサロン交流会、佐川町健康福祉大会、サンタが来るまち佐川プロジェクトの5つを柱に活動しています。昨年は、コロナの影響で十分な活動ができて残念でした。

「今、特に力を入れている取り組みは何ですか。」

どの活動も大切な取り組みですが、おたすけ隊の独自活動である「サンタが来るまち佐川プロジェクト」には力を入れています。依頼を受けて一般家庭や保育園、デイサービスなどの高齢者施設を、サンタクロースになって訪問しています。



サンタが保育園にやってきた

「成果は上がっていますか。」

訪問先の皆さんから、会ったばかりにお礼を言われ、子供世代、孫世代との繋がりが持てる温かい活動です。でも、25日が終わるとみんな燃え尽き症候群!!サンタも全集中で頑張りました。

「クリスマスにサンタが来るまち佐川町、子供からお年寄りまで、夢が広がる素晴らしい取り組みですね。これからも素敵な取り組みを全集中・夢の呼吸で期待しています。」

あなたの周りに佐川の町の元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ紹介してください。



おたすけ隊のメンバー